

古津軽さんぽMAP

弘前市

# 弘前が弘前になる前の南部魂を受け継ぐ人々

戦国時代は南部領だった津軽。ここ石川は名将・南部高信が大仏ヶ鼻城を構え、この地を治めていました。初代藩主・津軽為信に滅ぼされてしまいます。それでも石川の人々は南部魂を忘れず、りんごづくりや料理の伝承に、反骨精神を発揮し続けています。



津軽為信

石川城を治めた為信は虎視眈々と石川城を攻める機会を窺っていた。高信様のお役に立ちとう存します！

南部高信



南部高信は単なる城主でなく、郡代と呼ばれ、南部藩の津軽地方を治めていた。その拠点が石川大仏ヶ鼻城。

時はさかのぼり約四五十年前...

1 2  
3 4



高信様の御恩は忘れません!!

為信が津軽統一に乗り出し最初に攻め落とされた、石川大仏ヶ鼻城が現在の大仏公園。石川では今も、南部高信を偲ぶ忠魂碑の前で端午の節句の頃、宴会が行われます。



元龜2年 5月5日未明、為信の軍勢は夜の闇に乗り込み、堀越城へ集結。石川城を奇襲し攻め落とす。

## 石川に残る南部魂「モツケ」

石川の人々に残る「挑戦好き」なモツケの精神は、りんごの生産にも引き継がれています。

## 工藤徳一

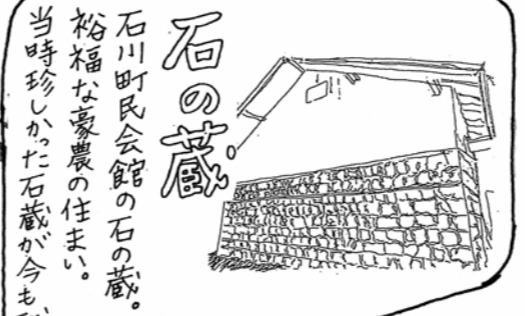
無袋栽培の生みの親、何度も失敗しながら無袋栽培を成功させ、農林大臣賞を受賞(昭和27年)。表彰された顕彰碑は石川八幡宮を過ぎた丘の上にあります。

## 工藤清一

大河ドラマ「いのち」の撮影が石川地区で行われたことから、主人公の名前をとって命名(平成4年)。

## りんご

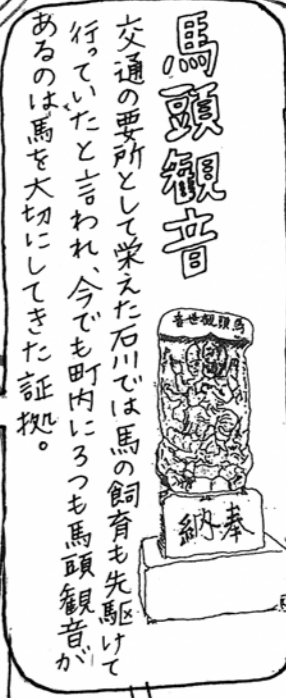
旧津軽石川農協(現JA津軽みらい)の究極の蜜入りりんご「こみつ(品種高徳)」(昭和60年)かつてはあまりに小さいので「幻のりんご」と呼ばれた危機からの復活!



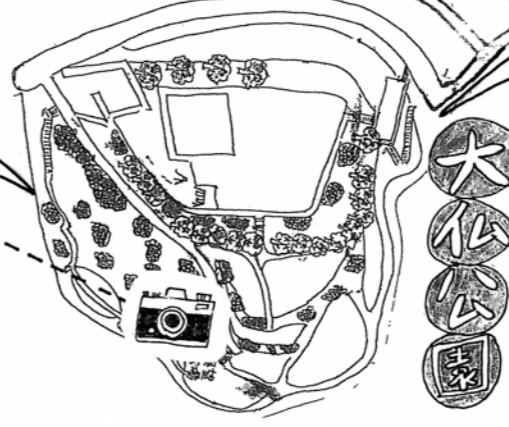
石川町民会館の石の蔵。裕福な豪農の住まい。当時珍しかった石蔵が今も残る。



あかつきの会 津軽に息づく家庭料理を未来に残すイベント。未だに残すアベンジャーズ。



馬頭観音 交通の要所として栄えた石川では馬の飼育も先駆けて行っていたと言われ、今でも町内に3つも馬頭観音があるのは馬を大切にしていた証。



あじさい 大仏公園には、20品種約2,500本のあじさいが咲き誇る。毎年初夏に「あじさいまつり」開催。



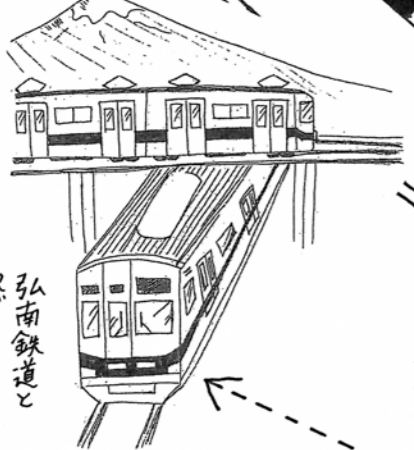
津軽の鬼コ文化 津軽では集落の人たちを災いから守っている良い鬼と言われ、40体近い鬼コが確認されています。神社の鳥居の上にちよこんと座っていて、色や表情も様々で、各所に伝説が残されています。



石川八幡宮



あじさい



弘南鉄道とJRが交差して北背景には岩木山

平野毘沙門天堂

至弘前市街

弘南鉄道

津軽あかつきの会

御幸橋

至大鰐

石川公民館

石川山ライ

石川郵便局

くどう内科

弘南鉄道

石川駅

大仏公園